

住職便り

第四号（平成二十三年九月）
専徳寺住職 弘中満雄

前略 親鸞聖人七五〇回大遠忌の年もいよいよ後半に入りましたが、いかがお過ごしでしょうか。

今年四月から、京都の龍谷大学、広島 の仏教学院にて授業を受け持たせていただいています。若い学生からの質問に考え込み、年配の方から間違いを指摘されて悩み込む日々です。ただ講義をする中で、改めて親鸞聖人の思想の緻密さ・奥深さを味わわせていただくことです。日々精進し、来年一月十六日の聖人七五〇回忌ご命日をお迎えいたしたく存じます。 合掌

専徳寺第一回「趣味の作品展示会」

作品募集

法要中、趣味の作品を展示いたします。絵画・水墨画・書道・写真・編み物・ガラス細工・彫刻・陶芸等、日頃から趣味として打ち込まれている作品を披露ください。法要前日までにお持ちください。



「法要限定」

CD販売

先月の法要の休憩時に流しました「いのちの理由」。この曲は、浄土宗が法然上人800年大遠忌の記念として、歌手のさだまさしさんに依頼してできた歌です。

優しい「想い」のこもった名曲です（下に歌詞を載せました）。

お寺に20枚用意しています。一枚千円です。



いのちの理由

作詞 作曲 さだまさし

私が生まれてきた訳は

父と母とに出会うため

私が生まれてきた訳は

きょうだいたちに出会うため

私が生まれてきた訳は

友達みんなに出会うため

私が生まれてきた訳は

愛しいあなたに出会うため

春来れば 花自ずから咲くように

秋来れば 葉は自ずから散るように

しあわせになるために

誰もが生まれてきたんだよ

悲しみの花の後からは

喜びの実が実るように

私が生まれてきた訳は

何処かの誰かを傷つけて

私が生まれてきた訳は

何処かの誰かに傷ついて

私が生まれてきた訳は

何処かの誰かに救われて

私が生まれてきた訳は

何処かの誰かを救うため

夜が来て 闇自ずから染みるよう

朝が来て 光自ずから照らすよう

しあわせになるために

誰もが生まれてきたんだよ

悲しみの海の向こうから

喜びが満ちて来るように

私が生まれてきた訳は

愛しいあなたに出会うため

私が生まれてきた訳は

愛しいあなたを護るため